

【中学3年S類ジュニア】 (平成29年度最終結果)
英検 準2級 72.2% 合格!

平成29年度 公立の高等学校第3学年で「英検準2級を取得している生徒」及び「相当の英語力を有すると思われる生徒」の割合は39.3%
(文部科学省:平成30年発表データより)

現中学3年S類ジュニアの生徒は
中2終了時点で96%が英検3級を取得しています。

2017年度の実用英語技能検定(英検)の最終結果が出ました。S類ジュニア(3年生)の生徒たちは「高校中級程度」とされている**英検準2級に72.2%の生徒が合格**してくれました。他の生徒についてもあと少しのところでしたので、高校進学後に再度チャレンジし、是非合格してほしいと思います。

「英語4技能」という言葉が徐々に定着しつつありますが、民間検定試験を入試に導入する動きはすでに始まっています。文部科学省の調べによると、2015年度に推薦・AO入試を含めて民間検定試験を活用した大学は、**国立23校(28.0%)、公立19校(22.6%)、私立229校(39.5%)**で、全体では**36.3%**の大学ですすでに導入されています。

現在の高校1年生から導入される大学入学共通テスト。新しい制度ではこれまでとどのように異なるのか、しっかり情報を集めて準備をしましょう!

- 英語の試験が「2技能(読む・聞く)」から「4技能(読む・聞く・書く・話す)」へ変わる。
- 民間検定試験は高校3年生の4月から12月の間に2回受験することができ、成績の良い方が志望大学に提出される。
- どの民間検定試験を利用するか、またどのように利用するかは大学によって異なる。
- 2020年度から4年間は移行期間となるが、その後は民間検定試験が全面導入される。
- 大学入試センターが認定した民間検定試験は以下の8種類。
【ケンブリッジ英語検定 / TOEFL / TOEIC / GTEC / TEAP / TEAP CBT / 英検 / IELTS】